

卓話

小梳神社宮司
森 英樹 様

「徳川家と小梳神社」

家康公が大御所となり駿府に住み、昨年400年を迎えたということで、小梳神社との関わりについてお話いたします。

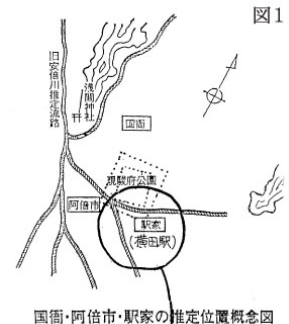


1. 小梳神社の名称と所在地

恥ずかしいことに、新静岡から清水に向かって電車に乗って行く時に、静岡平野を通って行くのですが、その間に川が一本も無いのはおかしい、静岡の平野はどうやってできたのだろうか？また、静岡の先住民はアイヌの人達だったことを知りませんでした。

賤機山と谷津山との間に現れた頸の如き洲をば生活上の便宜から集い来る附近の住民が「Oku-suiri(頸島)」と呼び、やがて「Oku-suiri Kamui(小梳神)」と尊崇したのではあるまいか。これが遙か後に浮島と呼ばれ、城壘の基礎となったのであろう。(静岡市史第一巻)

図のように、驚くべき事に、お浅間さんから大谷の方に向かって川が流れていたようです。さらには駿府公園のあたりにも流れている川があったと文献にあります。言い換えれば、かつて静岡平野は一面が沼沢で覆われていたということです。



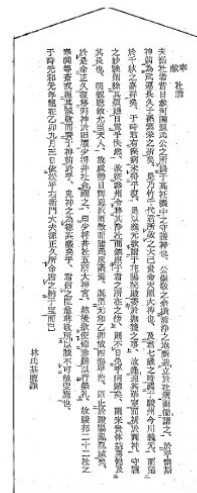
2. 家康公の駿府在住の時期(計26年)

- 第一期／今川氏の人質としての幼少年期
天文18(1549)年～永禄3(1569)年 8歳～19歳
- 第二期／駿・遠・三・甲・信、五カ国の領主としての壮年期
天正14(1586)年～天正18(1590)年 37歳～41歳
- 第三期／天下人大御所としての晩年
慶長12(1607)年～天和2(1616)年 66歳～75歳

3. 社講「駿河国新風土記」(新庄道雄著)より

家康公との関わりを申し上げるならば、第一期の人質時代に、門前に住まわれて、文・遊びの場としていたこと、晩年にはその時の恩を感じまして、二つの神様を小梳神社に合わせ奉りなさいと合祀されました。

残念ながら、小梳神社は昭和15年の静岡大火、昭和20年の戦災にて一物も残らず完全に焼け落ちてしまいました。徳川家からの宝物等の授かり物は全く残っておりません。



委員会報告

- 社会奉仕委員会(曾根田委員長)
5/25安倍川アドプト清掃活動について
- 親睦活動委員会(長島委員長)
最終例会について(6/28焼津グランドホテル)
- 国際奉仕委員会(佐藤委員長)／エイズ孤児支援について
- 音楽同好会(小澤会員)／静岡フィルハーモニー定期演奏会
- ゴルフ同好会(柏木会員)／7クラブ合同ゴルフコンペの件

出席報告…………… 柏木副委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 出席率
前々回	4/21	51名	41名	8名	—	2名	88%
前回	4/28	51名	40名	11名	—	(1名)	82%
本日	5/12	51名	43名	8名	86%	(名)	—